

私の生き方連絡ノート

人の生き方がさまざまなように、その人によって人生最期のとらえ方もさまざまです。突然の事故や病気、認知症などで判断力がなくなったとき、家族や周囲の人たちが困惑しないように、あなたの人生の来し方・これから（希望する治療など）を、この「私の生き方連絡ノート」に記録しておくことができます。

「事前指示書（リビング・ウィル）」のご提案

昏睡状態や植物状態、重度の認知症などで、自分の受ける医療行為について自分で決められなくなってしまうことがあります。そんなときの備えとして、自分の受けたい、または受けたくない医療行為についての希望を、あらかじめ表明しておく「事前指示」が重要になります。たとえば、「がんの末期状態で、痛みを抑える治療はしてほしいが、延命治療はしてほしくない」「病気が悪化したときは、人工呼吸を含め、考え得るすべての医療行為を行ってほしい」「自分が判断能力のない病状に陥ってしまったら、自分に行われる医療行為に関するすべての決定権を〇〇さんという人に任せる」など、このような希望を文書にしたものを「事前指示書（リビング・ウィル）」といいます。

自由記述式

Ⅲ 意思表示カード

A) を望まない場合は、A) の項目を二本線で消してから、B) の※欄に理由を書いてください。
※変更や書き損じがあった場合は、②のカードをご使用ください。

① 私が急病で明確な意思表示ができない時：

A) できるだけ治療を望みます。

B) 私は ※ _____ ので、
延命のための治療はしないでください。

判断に困ったら

① () _____)

② () _____)

に相談してください。

氏名 _____ 印 _____ 年 月 日記入

住所 _____

TEL _____

もし、認知症や脳卒中になってしまったら…

意識不明で、自分で治療を選べないときは、どうすればいいの？

自分が望む治療の選択

全16ページ
手軽に書けます!

切り取って使う携帯用
意思表示カード付き

書き方のポイント解説